



いざく



花いっぱい
汗いっぱい
笑顔いっぱい

<http://www.ed.city.hioki.kagoshima.jp/~izaku/blogn261/blognplus/>

伊作小ブログでは、学校の様子をさらにたくさんご覧いただけます

児童数 244名 電話 099-296-2021

楽しい夏休み

校長 野間芳人

アオバスクがセンダンの木につがいできてきました。いよいよ明日から、子どもたちが楽しみにしている夏休み。数人の子どもの夏休みの楽しみを尋ねてみました。すると、出かけること（旅行）を楽しみにしている子どもが大半でした。中には、楽しみを考えたこともなく、首をかしげる子どももいたり、宿題（課題帳）に追われることを苦にする子どももいました。

夏休みは、四十日余りの長い間、子どもたちをご家庭にお返しすることになります。ご家庭によっては、お勤めのために子どもだけで過ごす場合もあると存じます。

そこで、二学期の始業日に「楽しかった夏休み」と言えるよう、次の二つのことをご家庭で話し合い、取り組んでみてはいかがでしょうか。

まず、日頃なかなかできないイベントに家族で取り組むことです。例えば、海や山での自然体験、文化施設の観光や地域行事に参加するなど。

次に、継続して実践に取り組むことです。例えば、責任をもって家事を手伝うこと。家族の一員として、草取りや掃除を続けるのもいいでしょう。また、宿題や作品づくり、二十五メートルを泳げるようにする取組も考えられます。

どの場合も、ご家庭の励ましや賞賛が子どもの「やる気」を奮い立たせます。ぜひ、夏休みの目標と計画を家族で話し合ってみてください。

実り多かった一学期、ご家庭や地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。結びに、安全で楽しい夏休みを願いながら、元気に二学期が迎えられますよう期待します。



夏を告げるアオバスク

校長余談「母のたくましさ」

かつて7人いた我が家は、中2になると、祖父と母と私の3人になった。働き手は母一人で、田畑に米とからいもを作っていた。ある日、からいもの収穫を手伝った。秤で計った四十数キロの袋を出荷するのである。私は直ぐにへたばるのだが、母は根気強かった。ふざけて力こぶ比べをしたが、母の細腕の筋肉は隆々としていた。こうして母は、からいもで2人の息子を大学まで出した。

94歳になる母の二の腕はとても柔らかく優しい。

校内水泳大会

7月10・11日に中学年と低学年で実施されました。元気に水に親しむ姿が印象的でした。



かめさん祭り

～ウミガメや吹上浜の自然を保護しよう～

このお祭りは、昭和63年から続く伝統行事です。今年も、7月5日（金）に実施されました。体育館では、4年生が出すウミガメクイズで楽しみ、ウミガメパトロール員の福田晋拓さんから、保護の様子を聞いたあと、校庭で吹上音頭を踊り、自作の大きなうちわや横断幕を持って、街頭パレード。

今年も、商店街のコースを長めに変更しましたが、子どもたちは、元気よくウミガメ保護を訴えながら、環境保全の意識を高めていきました。



ウミガメの卵 校内のふ化場へ



7月3日（水）に、吹上支所の環境衛生係の田原さんからいただいた亀卵を105個、16日（火）には108個、4年生が校内のふ化場へ移しました。

約2か月後に多くのウミガメの赤ちゃんを海に帰してあげられることを願っています。

PTA資源回収

6月23日（日）、吹上中央公民館駐車場に、多くの新聞紙や空き瓶、ペットボトルなどが集められました。皆様のご協力により無事終了することができました。ありがとうございました。



田植え体験活動 (6/19)

5年生が、田植え体験活動を行いました。子どもたちは田の土の感触をしっかりと感じながら、また秋の収穫を思い描きながら、充実した体験活動を行うことができました。



一緒に給食 (6年・1年)

6年生には低学年のお世話の仕方を更に学んでほしい、1年生には高学年をもっと慕ってほしい。それぞれの学年間のふれあいを深めるために、7月17日、給食時間を共に過ごしました。笑顔で打ち解け合う姿が見られ素敵な時間になりました。



